

道

2018年7月



ブナ(上蒜山)

6月◇日。地域の集まりで、社協の女性職員が話している
その声が聞きづらい。右耳がおかしい。次の日、仕事を休
んで耳鼻科受診した。その医師の言葉「普通の会話なら問
題ありません。ただし、右耳高音部聴力に年齢相応の衰え
が認められます」。▼6月〇日。眼科の定期受診。「緑内
障」と診断されたのが一年半前。点眼薬は死ぬまで続ける。
この日、眼科医は僕にこうも言う。「白内障は、いつ手術
してもいいような状態です」。▼6月☆日。かかりつけ医
の定期受診。主に高血圧で。「塩分は控えていますか。お
酒も程々に。いつもの薬を出しておきますね」。▼6月△
日。腹部に赤い発疹ができ、チクチク痛い。とりあえず「
リンデロン」を塗って数日様子を見るが治らない。それど
ころか背中などにも広がる。痛みも強くなったようで皮膚
科に受診する。「带状疱疹」。抗ウイルス剤が処方される。
この薬はアルコールと相性がよくないとのこと。忠告を受
け四日半、断酒する。▼「林さんは若く見える」と言っ
てくれる人がいる。悪い気はしない。しかし、体の中身はこ
の通り。ごまかしがきかない。そのうち「脳梗塞です」「
癌です」「認知症です」などという日も来る。▼看護師の
田村恵子さんが、新聞で、病气や死に「正面から向き合う」
こと、「体の声を聴き、あるがままに受け入れる」ことの
大切さを説いている。そうなんです。ですが……。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

090-5366-1497

michi-care@outlook.jp

<https://michi-care.jimdo.com/>

林道也

遠田 棕の木

